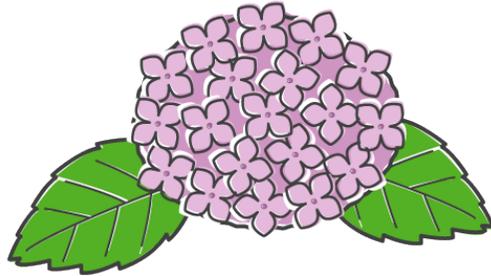


せったん

第151号 2014年6月15日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



《感想文》 医療安全管理対策研修会 相談の実情知り より良い診療の励みに

北摂・丹波支部は5月10日、三田市・キッピーモーターで医療安全管理対策研修会を開催し、25人が参加。「医療安全相談窓口における苦情・相談状況」神戸市の事例から学ぶ」をテーマに神戸市保健所予防衛生課医



神戸市の医療安全相談窓口によせられた事例を紹介する甲本氏

務業務係長の甲本博幸氏が講演した。参加した安部治郎幹事の感想文を掲載する。甲本氏は患者・家族等からの相談や苦情、それらの事例を分析し、これらに係者へ情報提供をすることを主な業務とされている。

相談件数は年ごとに増加している。相談内容は医療行為・医療内容、職員の対応・接遇、医療費で約6割を占めるそうだ。対象施設は病院、診療所でおよそ8割におよぶ。相談の背景にある社会的要因として①長寿社会、健康志向の高まり②インターネットなどから容易に情報入手可能、などを挙げられていた。

最後に患者さんと良好なコミュニケーションを築くことが大切と、締めくくられた。

協会では毎年、接遇研修を実施していただいているが、毎回研修を受け研さんし、自医院が患者さんの相談対象にならないよう努めようと肝に銘じさせられた。

【三田市 安部 治郎】

幹事会学習会 ごみ処理事例 図を用いわかりやすく解説

北摂・丹波支部は、2月13日、幹事会学習会「事業系ごみの適正処理について」を開催し、支部幹事ら9人が参加した。三田市経済環境部環境政策局ごみ政策課上島佳紀課長、梶谷周平係長を講師に、「三田市におけるごみ政策」とあわせて「事業系ごみの適正処理」についてお話いただいた。



説明する市役所の梶谷氏 (左) と上島氏 (右)

ごみ分別表、資源物取扱事業者の紹介、医療機関での廃棄物の処理事例を、写真を用いてわかりやすく解説するなどし、参加者からは、「機密文書のリサイクルはどうしたらよいか」「どの取扱事業者がよいか」など、さまざまな質問が出された。

三田市は事業系ごみに対する取り組みとして、ごみ軽量・リサイクルを効果的に進める関係で、4月から資源化可能な紙類の三田市クリーンセンターへの搬入規制、搬入物検査を実施している。新聞、雑誌、段ボールなど紙は三田市クリーンセンターへの搬入はできなくなり、許可業者、再生

資源事業者へ回収を依頼しリサイクルすることが求められる。搬入物検査も実施され、古紙類が混入していないか内容をチェックし、違反があれば排出事業者に対し立ち入り調査も行い、指導、啓発も行うことが紹介された。

兵庫県保険医協会北摂・丹波支部 第26回支部総会のご案内

2014年6月 北摂・丹波支部支部長 森下 順彦

記念講演

支払基金における審査の現状

～査定・減点を減らすレセプト請求の留意点～

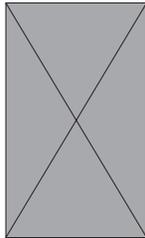
日時 7月12日(土) 総会議事 午後5時30分～、講演 午後6時～8時
会場 キッピーモール6階「多目的ホール」、懇親会は「はな子」(午後8時～)
(三田市駅前町2番1号 TEL079-559-5154)
講師 全国社保険診療報酬支払基金労働組合・前中央執行委員長
南 鉄雄 氏
参加費 無料(懇親会無料)

先生方におかれましては日々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
標記の通り、北摂・丹波支部第26回支部総会を開催し、2013年度の支部活動を振り返り、新年度の活動方針についてご意見を頂きたいと存じます。
今年の記念講演は、支払基金労働組合・前中央執行委員長の南鉄雄氏をお招きし、縦覧・突合点検が開始されて以降の支払基金における審査の状況がどのように変化しているのか、最近の査定の傾向など、知っておくべきレセプト請求の注意点を現場のリアルな経験をもとにお話し頂きます。先生はもちろんスタッフの方も誘いあわせの上、ご参加ください。

これだけは押さえない！ 患者接遇の基本

～クレーム対応も含めて～

日時 6月28日(土) 午後2時半～4時半
会場 三田市総合福祉保健センター3F 第3・4会議室
(三田市川除675番地 TEL079-559-5700)
講師 マネジメントコンサルタント **松田 幸子** 先生
参加費 1,000円(受講された方には受講証を発行します)
定員 30人(定員になり次第締め切ります) 筆記具の持参を



「篠山市の医療をよくする会」が対市交渉

北摂・丹波支部が参加する「篠山の医療をよくする会」は4月11日、篠山市に対して懇談を行った。兵庫県社会保障推進協議会が篠山市に対して行った「2013年社会保障施策等についての自治体アンケート」結果に基づいてまとめ、市長に提出していた地域医療に関する要望書に回答したもの。篠山市からは保健福祉部医療保険課の大戸輝美課長、保健福祉部福祉総務課の倉剛史課長、会からは7人が参加した。看護師確保対策として、昨年から行っている看護師養成の助成制度の利用状況に関して、大戸課長は、これまで13人が利用し、内2人が卒業し、篠山市



交渉では、社会保障施策の拡充を求めた

現在国において審議中であり、具体的な方針が決まっていけないので、今の時点では言えないことが多いが、現時点では、

医療センターで働いているとのこと。一定の成果が上がっていることが明らかになった。介護保険の要支援者の地

域支援事業の移行についての調査で、篠山市は現在の通所型サービスや訪問型サービスを活用し、拡大していくことで対処可能としている点に對

行のサービスを維持していくために、ボランティア育成事業なども推進していくと回答。だが、国から財政的援助が必要であること、このままでは財政的基盤のあるなしで、市町によってサービスに差が出てきてしまっているのではないかと危惧していることも明らかにした。

歯科臨床談話会

歯科医院における「つまようじ法」の活用

日時 6月28日(土) 19時～20時30分 会場 協会5階会議室
話題提供 三田市・小寺歯科医院院長 小寺 修先生
※スタッフの参加も歓迎!

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1809 石本まで